

愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会スローガン・エンブレム制作検討委員一覧

制作検討委員長



廣村 正彰 グラフィックデザイナー 廣村デザイン事務所 代表取締役

1954年愛知県生まれ。田中一光デザイン室を経て、1988年廣村デザイン事務所設立。グラフィックデザインを中心に、美術館や商業、教育施設などのCI、VI計画、サインデザインを手がけている。多摩美術大学客員教授、金沢美術工芸大学客員教授。主な仕事に、日本科学未来館、すみだ水族館、9hナインアワーズ、アーティゾン美術館、石川県立図書館、名古屋造形大学、LOFTのアートディレクション、東京2020スポーツビクトグラム開発など。主な受賞歴に、毎日デザイン賞、KU/KAN賞、SDA大賞、グッドデザイン金賞、DSA大賞ほか。著作『デザインからデザインまで』（ADP）他。

制作検討委員



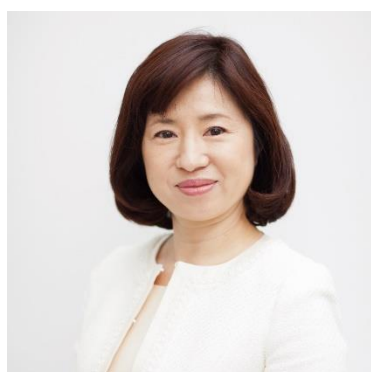
伊藤 豊嗣 グラフィックデザイナー 名古屋造形大学 学長

1958年三重県生まれ。1981年三重大学教育学部美術科卒業。1984年デザイン事務所設立。主な受賞歴に、公益財団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）ポスター大賞1993、JAGDA新人賞1994、第15回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ1996銅賞（ポーランド）、平成14年度名古屋市芸術奨励賞、上海万博（2010）・国際ポスターコンペティション名誉賞、第62回全日本広告連盟名古屋大会（2014）シンボルマークコンペ採用、Poster Stellars 2022 第2回国際ポスターコンペティション Political 部門銅賞（アメリカ）他。



田口 亜希 公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター
推進戦略部ディレクター

パラリンピック射撃元日本代表。アテネ、北京、ロンドンと3大会連続でパラリンピックに出場。アテネでは7位、北京では8位に入賞。2016年オリンピック・パラリンピック招致活動では最終プレゼンターを務め、また2020年オリンピック・パラリンピック招致における国際オリンピック委員会（IOC）評価委員会ではプレゼンテーションを行なった。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、聖火リレー公式アンバサダー、選手村副村長としても大会を盛り上げた。日本パラリンピック委員会運営委員、日本オリンピック委員会理事も務める。



田中 里沙 事業構想大学院大学 学長

会社案内、企業広告を得意とする広告会社（広報、コーポレートコミュニケーション）を経て広告マーケティングの老舗雑誌「宣伝会議」に移籍。29歳で編集長に就任。「広報会議」「環境会議」等を創刊。オンラインメディア「アドバタイムズ」を開発。社会資本整備審議会、地方制度調査会、財政制度等審議会、中央環境審議会等の委員、政府広報アドバイザー。環境省「クールビズ」ネーミング、2020五輪エンブレム、伊勢志摩サミット、G20ロゴマーク選考委員を担う。2016年学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学学長に就任。新事業、地域活性、広報・社会構想の研究及び人材育成に従事する。